

東京8  
TOKYO 8

## 圧倒的な数の微生物のチカラで広い環境に対応

一般的な微生物製剤(肥料)に含まれている微生物は  
**2~4種類**だけ

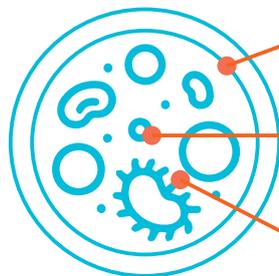


東京8は**1400種類以上**の  
多種多様な微生物の集合体

特長

## 圧倒的に微生物が多い

多種多様な微生物が存在するため、  
様々な環境において、  
色々なニーズに応えることができる  
微生物社会が形成されている



肥料成分は  
ほとんど無いが……

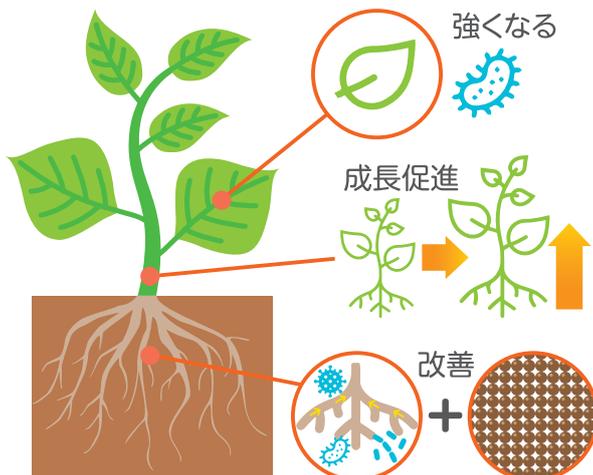
どんな環境でも  
効果を発揮

複数の機能を有する

東京8  
TOKYO 8

## 作物を強く + 成長促進 + 土壌の改良

メリット



≪メリット≫  
**1** 有機微生物の働きで  
病害菌をコントロールし、  
作物を強くする。

≪メリット≫  
**2** 健康な土地から十分な  
栄養を摂取できるので、  
作物の成長促進につながる

≪メリット≫  
**3** 土地の団粒化を促進し、  
土壌の改良と安全をはかる

東京8  
TOKYO 8

## 土壌や葉など全体に噴霧するだけ

10~100倍(1ℓあたり100ml~10mlの東京8  
を投入)に希釈した東京8を土壌や葉へ、全体的  
にまんべんなく散布するだけ。**基本の量：1㎡**  
**あたり1ml**100倍希釈(1ℓの水に対して10mlの  
東京8)で灌水チューブでの散布も可能



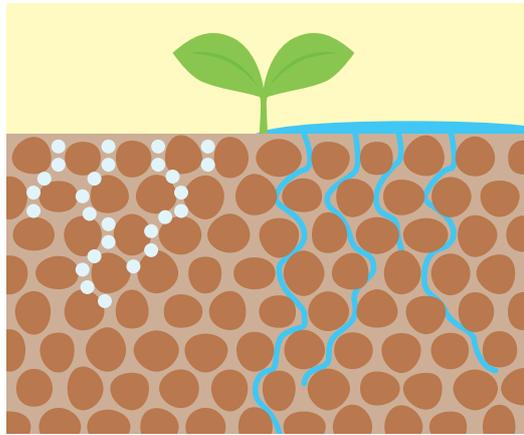
使い方



東京8のバクテリア群(微生物叢)は、根からの  
栄養吸収を促進。病気の原因となる悪玉菌も  
コントロールするので、葉にも均一に散布する  
ことで、葉や土壌にも良い影響を与えます。

## 微生物の活動で土壌の団粒化を促し植物の成長を促進

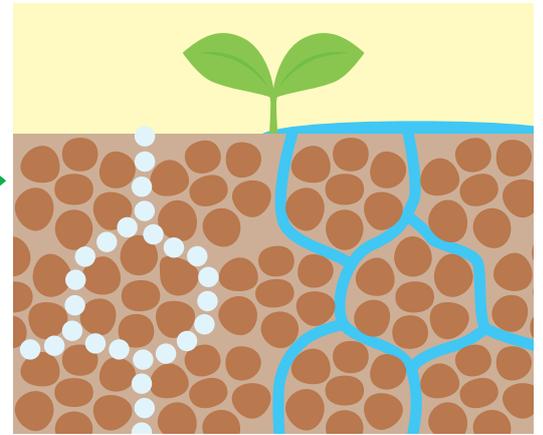
単粒の土壌 (土の粒子が詰まっている状態)



「東京8」により  
微生物の活動が  
活発化。  
土壌の団粒化を  
促進します。

●…土 ●…水 ●…空気

団粒化された土壌構造



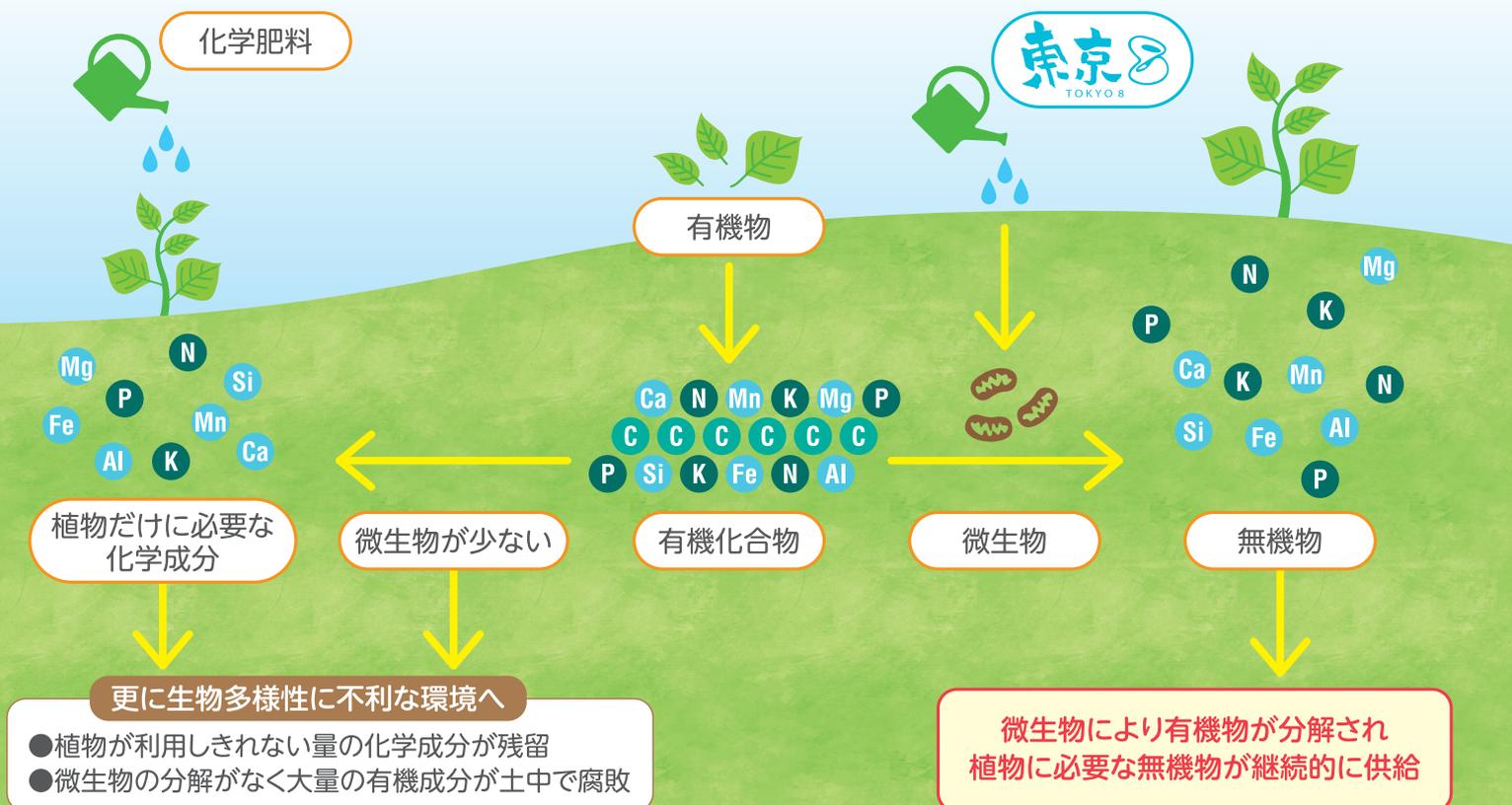
- 微生物活性がない
- 硬い
- 灌水・通気性が悪い
- 根の健康に悪い状態

- 微生物活性が高い
- 柔らかい
- 灌水・通気性が良い
- 根の健康状態が良い
- 腐植物質が多い

## 土壌の団粒化によるメリット

- 1** <sup>メリット</sup> 土が柔らかくなる (根が成長しやすい)
- 2** <sup>メリット</sup> 空気が循環し、保水力があがる
- 3** <sup>メリット</sup> 微生物の多様性が保たれる

## 自然のチカラを引き出して健康で持続可能な土壌づくりを実現

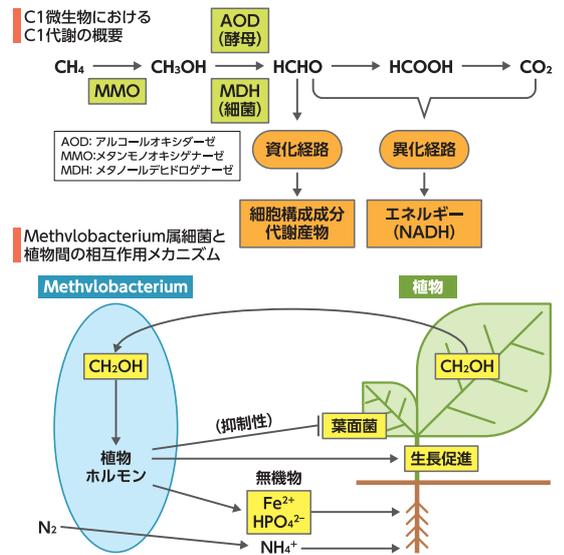


## 東京8の微生物による炭素循環について

植物は、成長過程や死後にメタンやメタノールなどの化合物を年間1億トン以上放出し、温室効果ガスとして大きな問題になります。放出されるこれらの化合物を分解し、炭素源やエネルギー源として植物の成長促進に還元するのが**東京8**に含まれる**C1微生物**です。

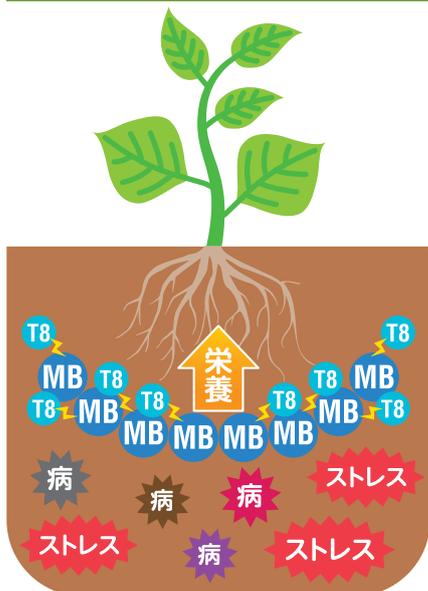
**C1微生物**は、メタンなど、二酸化炭素の28倍とも言われている温室効果をもつエネルギーを最小にまで分解し、その途中で植物に対して有用である炭素源やエネルギー源として供給してくれる働きを持っています。

東京8を使わなくても、こうした働きをする細菌や酵母は自然界に多く存在しますが、東京8による微生物の集団効果により植物の成長促進効果が推しすすめられ「**収穫量があがる**」「**成長が早くなる**」という結果に結びつきます。



※由里本博也 阪井康能(京都大学) C1微生物-植物共生系によるC1炭素固定と植物生長促進、光合成研究25(2) 2015

## 排水処理のプロフェッショナルが開発



### 微生物のリーダーがマイクロバイオームをコントロールして病原やストレスから植物を守ります

- 無害で誰でも取り扱いできる
- 無臭
- リキッドで使いやすい
- **有機JAS認定資材**登録済 (登録番号：JASOM-220401)
- 自然のチカラによる持続可能な土壌改良
- さまざまな作物や土壌でテスト済み
- 虫や病気に負けない強い作物を作る(現在実験中)



## 人にも自然にも安心・安全でみどりの食料システム戦略に貢献

一般的な微生物製剤(肥料)の数百倍にあたる1400種以上の微生物の働きで、土壌を改善し、強い作物の生育および成長促進をはかることで**生産性を向上**。

化学肥料と異なり土壌に害を及ぼすことがなく、自然のチカラにより、健全で**持続可能**な土壌を育むことが可能。

